



**上野古典立華伝承展
雄大な自然美を表現**

2月20日、21日の両日、南条文化会館で、上野区に約150年前から受け継がれる町指定無形文化財「上野古典立華」の伝承展が開かれ、町内外から訪れた大勢の人が、山水美を表す立華を観賞しました。

ネズミスギの大木にイブキやマツ、菊、アリスなどをあしらひ、舟が出航するさまに見立てられた高さ2.5m、幅5mの大作をはじめ、上野華道奨励会の会員15人が14点を制作展示。山、川、海など自然の趣を表した雄大な作品に、来場者は見入っていました。



**今庄小学校エコキャップ贈呈式
世界の子どもたちにワクチンを届けよう**

3月2日、今庄小学校児童会から南越前町消費者グループ連絡協議会に、ペットボトルのキャップで予防接種を受けられない世界中の子どもたちにワクチンを贈ることができ、エコキャップの贈呈式が行われました。

昨年6月から児童会運営委員会が中心となって回収をはじめ、児童の家庭などから約29,000個が集められました。児童会長の中矢有耶さんが「世界で病気に苦しむ子どもたちを助けるために役立ててもらえたらうれしい」と贈呈。協議会の井上会長からお礼の言葉とともに、受領証が手渡されました。今回集められたキャップで約36人分のワクチンを届けることができます。



**国際交流フェスティバル
異文化交流 親睦深まる**

3月7日、南条保健福祉センターで、国際交流フェスティバルが開かれ、南越前町国際交流協会の会員や町内在住の中国、フィリピン、ペルー、ブラジル人ら約80人が参加しました。

ハンガリー発祥で長さ8cmほどの小さな木の笛「コカリナ」や中国の伝統的な弦楽器「二胡」の演奏が行われたほか、今回は越前市在住のブラジル人の子どもたちを招待。元気いっぱいブラジルのダンスが披露されました。また、つきたてのもちの振る舞いや着物の着付けなども行われ、参加者らは異国の文化を体感し、親睦を深めていました。



素盞鳴神社 神田祭

五穀豊穡と無病息災を願う

3月11日、上別所集落センターで、素盞鳴神社の神田祭が行われました。

神田祭は収穫に感謝し、五穀豊穡や無病息災を願う祭りで、江戸時代の後期ごろ、素盞鳴神社の所有田で取れたお米をみんなで分かち合って食べたのが始まりといわれ、高さ15cmほどの円柱の型(もっそう)と御神体掛け軸、おすずを当番に引き渡しながらか受け継がれてきました。油揚げとニンジンを加え、炊き込んだご飯をもっそうに詰めて重箱に盛るのが特徴。お好みで、大根おろしとネギをかけて頂きます。参加者らは、高々と盛られたご飯をおいしそうに食べながら親交を深めるとともに、自然の恵みに感謝し、次の豊作を願いました。

